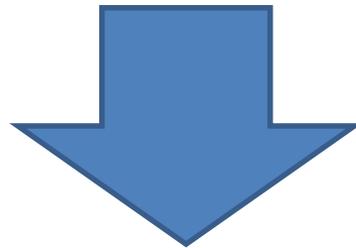


ワークショップの 意義と方法

ワークショップとは…？

- 語源：Work Shop (WS)

「作業場」「工房」が転じて、多用な人達が積極的にコミュニケーションできるような学びや問題解決をする手法



参加体験型学習

＝

参加者が体験しながら学ぶ場

講義型研修と参加体験型研修の比較

講義型研修		参加体験型研修
指導者から学習者への 一方通行的な知識の伝達	方法	自発的に行動し、学習者 同士で共に学ぶ
「講義をする」 「演習をする」	学習方法	各グループでの話し合い 発想・発見的体験学習
指導者がコントロールする	具体的な 方法	ファシリテーターが見守り、 学習者主導型で行う (時には介入し、軌道修正)
ある一定の正解があらかじめ 用意されている	問題解決	適切な答えを各グループで 導き出す (→ 正解がない)

ワークショップってなに…？

グループワークをベースにした、
参加・体験・創造型の学習方法で、
課題解決や合意形成、学習、交流などを行う「場」

「当事者意識」が
高まる

「他人事」



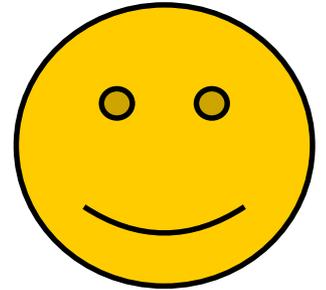
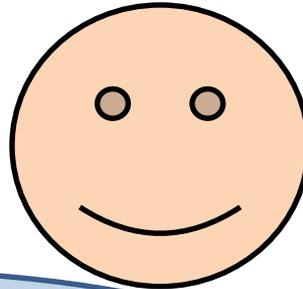
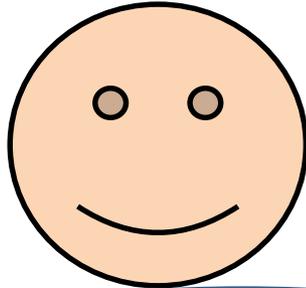
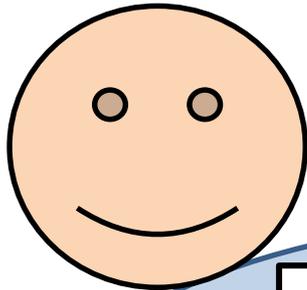
「自分事」

- 人から教えられたり、指示されたりすることは、そのときに「なるほど」と思っても身に付かない。
- 遠い出来事や対岸の火事と違ってしまふ。

- 「自分たちで考えた！」感や「自分たちで作上げた」感がある。
- 自分が関係者であることを自覚する。
- 責任を持って関わって行こうという気持ちになる。

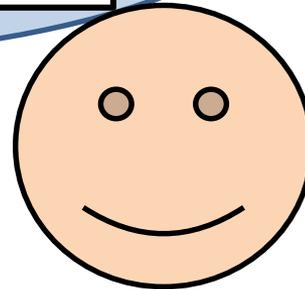
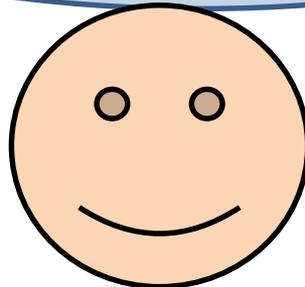
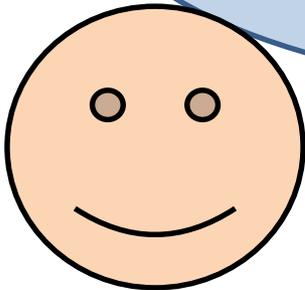
ワークショップのイメージ

発表者



ファシリテーター

スモールグループ
ディスカッション
(SGD)



書記

司会者

ワークショップとは…？

• WSの標準的な流れ

アイスブレイク

まずは参加者同士で打ち解ける

自分の考え

今日のテーマは？
自分ならどう思う？

グループ
ワーク

どんな意見が飛び出るのかなど、
お互いの考えを尊重して話し合う

発表
振り返り
フィードバック

他のグループではどんな意見があったのかなど、
今日の成果を振り返って共有する

アイスブレイクとは…？

- 語源：ice break

氷のような雰囲気壊すこと！



話し合い研修やワークショップなど、議論が進みやすくなるような雰囲気作りのためにSGDの冒頭に行うもの



重い場の雰囲気を和ませ、本題である会議を活性化するための導入部分

SGDを進行する上で大切なこと

「時間管理」

「公平性」

「編集力」

意見を引き出すポイントとして

- 発言を求める前に準備時間をおく
- 順番に発言させる、発言のない人に振る
- 同じ人が長く話さないように気を配る
- 付箋紙などを利用して意見を出させる

など…。

論点を整理するポイントとして

- 付せんを分類して見出しを付けるなどして、分類したものを関連付けさせる。
- 模造紙上に発言をメモ書きのように書きとり、キーワードなどに下線を引いて、共通するキーワードを見つけて、整理する。

など…。

結論を出すポイントとして①

- 出てきた意見に対して、各参加者の反応を見ながら、合意を得られそうな結論の案を示す。

(たとえば…)

- ・ たくさんの意見が出ましたが、どうしますか？
- ・ 皆さんの議論を聞いていていますと、〇〇のような結論になると思いますが、いかがですか？

など…。

結論を出すポイントとして②

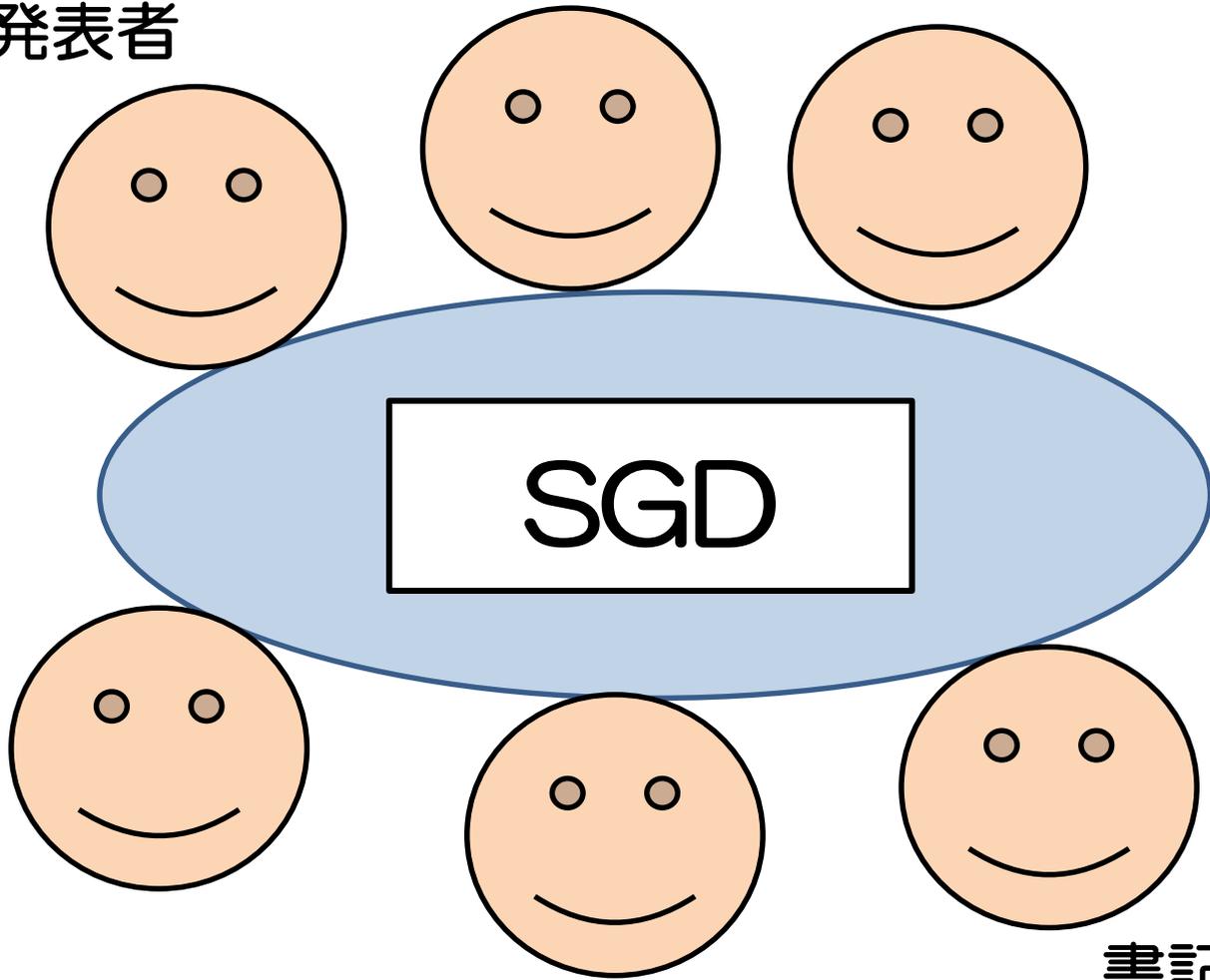
- 意見が分かれた場合は各案の支持状況を確認したうえで、結論案を示す。
ただし、結論を出すにあたっては理由を明らかにする。
- 最終的な結論は、参加者同士の関係性などを考慮して、参加者全員が納得して合意ができる結論を導く。

など…。

ファシリテーターとは…

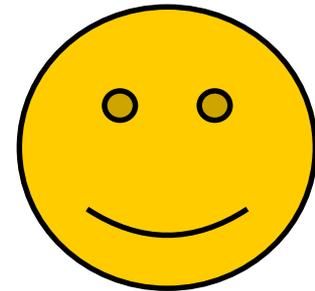
グループ活動のプロセスを管理する進行役

発表者

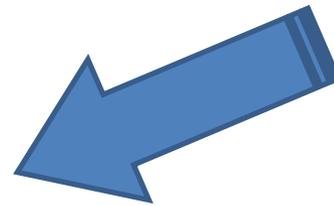


ファシリテーション

働きかけ



ファシリテーター

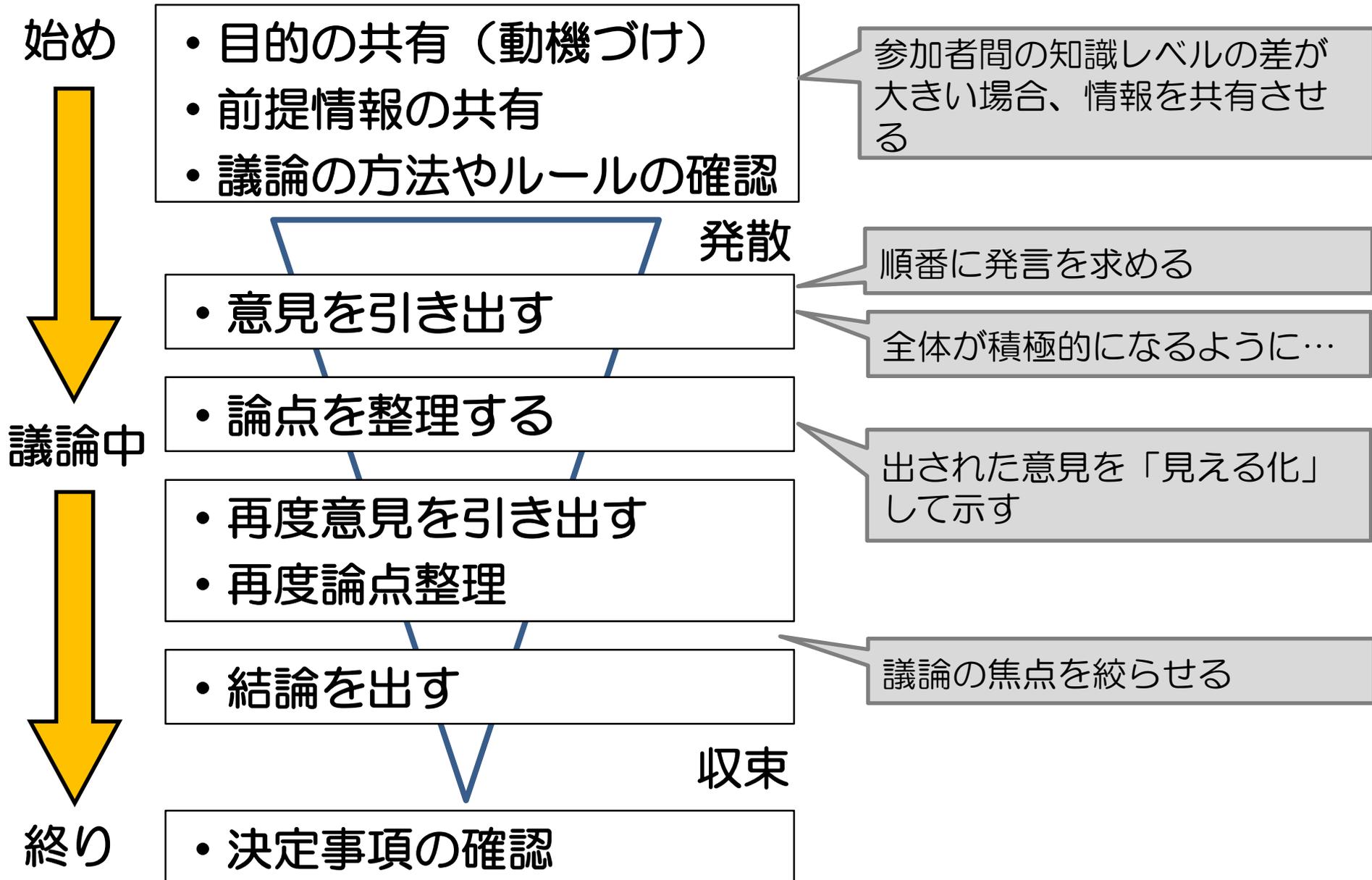


当事者間のコミュニケーションがうまくいくように第三者として働きかける

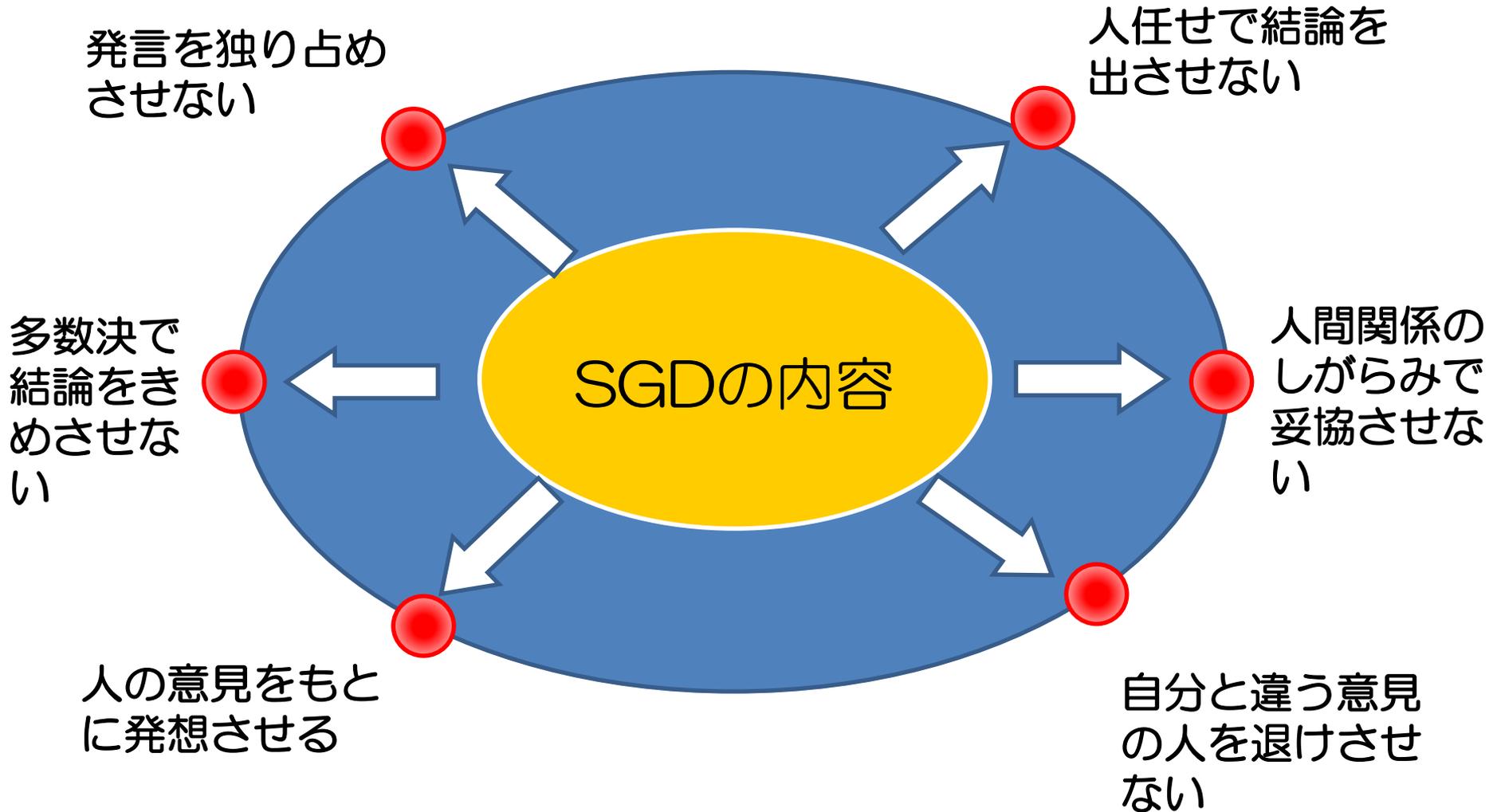
司会者

書記

ファシリテーションの流れ



ファシリテーターにとって 大事なこと…？



ファシリテーターの基本的なスキル

傾聴

「聞く」から「聴く」

- ・「聴いてもらえる」=安心して発言できる場を作る
- ・「伝えようとしている」こととその背景までを「聴く」

観察

何が「起きている」かを見抜く

- ・場にある関係性に気付く
- ・場の変化を見逃さない

質問

引き出す・広げる・深める

- ・参加者の意見を引き出す
- ・視点を変えて可能性を広げ、絞り込んで深める

整理

分析し「見える化」する = 構造化

- ・議論を見通してつなぐ
- ・かみ合わせてまとめる

司会者とファシリテーターの違い

司会者	ファシリテーター
議長一任などの形、一定の決定権を持つ	決定権を持たない
議論を誘導できる	議論を誘導できない
解決策（答え）を示す	解決策（答え）の探し方を示す
自ら主張する	参加者全員の自主性を尊重する
結論が決まることが大事	結論を練り上げるプロセスも大事
主役・花形	脇役・裏方・黒子
権威的態度	友好的態度

司会者：発言権・誘導権・決定権を持ち、結論を出す。

ファシリテーター：発言権・誘導権・決定権を持たずに結論を導く。